

「地域の絆作り 市民ら考える 東城で集い」

当法人の中島代表理事がこの集いにて行った講演「地域の絆の壊れ方と作り方」について掲載されています。



地域の絆作り
市民ら考える
東城で集い

庄原市社会福祉協議

会は23日、同市東城町の市東城文化ホールで、「東城地域の支えあいづくりを考える集い」を開いた。市民約130人が参加した。

地元の小中高生4人が、友人の大切さや家族との思い出などを発表した後、県社会福祉

士会の中島康晴会長(40)が「地域の絆の壊れ方と作り方」と題して、基調講演した。写真。

中島会長は「他者との関わりを避ける世代が増えた結果、知らない相手への無理解や恐怖が生まれ、絆が崩れている」と指摘した。自身が福山市内で運営する介護事業所では、多くの人に認知症患者の状況を理解して



もらうため、積極的にイベントを仕掛けていることなどを紹介した。